７９１２Ａ～７９１６Ａ
（パネル・ＤＩＮレール共用取付け）
０．５級電力用トランスデューサ

取　扱　説　明　書

このたびは7912A～7916A 0.5級電力用トランスデューサをご購入いただきありがとうございます。
本器の操作はこの「取扱説明書」をよく読みになり正しくお使いください。本書はいつでも使用できるよう保管してください。

１．取付けの前に

(1)梱包箱、本体ケースの外観をチェックして損傷のない事を確認してください。
(2)本体の側面に貼付された仕様銘板に記載されている内容がご注文の内容と一致することをご確認してください。

２．取付方法

本製品はパネル取付、ＤＩＮレール(36mm)取付どちらでも可能です。
複数取り付ける場合は、いずれの場合も5mm以上の間隔を取ってください。

(1)パネル取付けは、図1のように2本のM6ネジで固定します。
下側の取付脚は穴では無く、切り欠きになっていますので、図2のようにネジを仮り止めしておくと、スライドして引掛けることができるので、容易に上側のネジを止めることができます。
M6ネジの推奨締付トルク：3.2N･m

(2)ＤＩＮレール取付（取り外し）
図3のようにＤＩＮレールに上側の溝を引掛けて、下側を押し込むだけで取付けられます。移動させるときや取り外すときは、図4のようにスライドロックをマイナスドライバー等でスライドさせてください。

３．配線

配線は各線が遮断されていることを確認してから行ってください。

(1)安全端子カバーの取外し方、取付け方
配線のため安全端子カバーを取外す(開く)ときは、カバーの中央部のやや上を持って軽く引っ張ってください。
カバーがしなるように反って上部が外れます。

カバーを強く引っ張らないでください。破損することがあります。
また、必要が無い限り下部側は外さないでください。
カバーを紛失することがあります。

配線後に取り付ける(被せる)ときは取外すときと逆の動作で取付けてください。

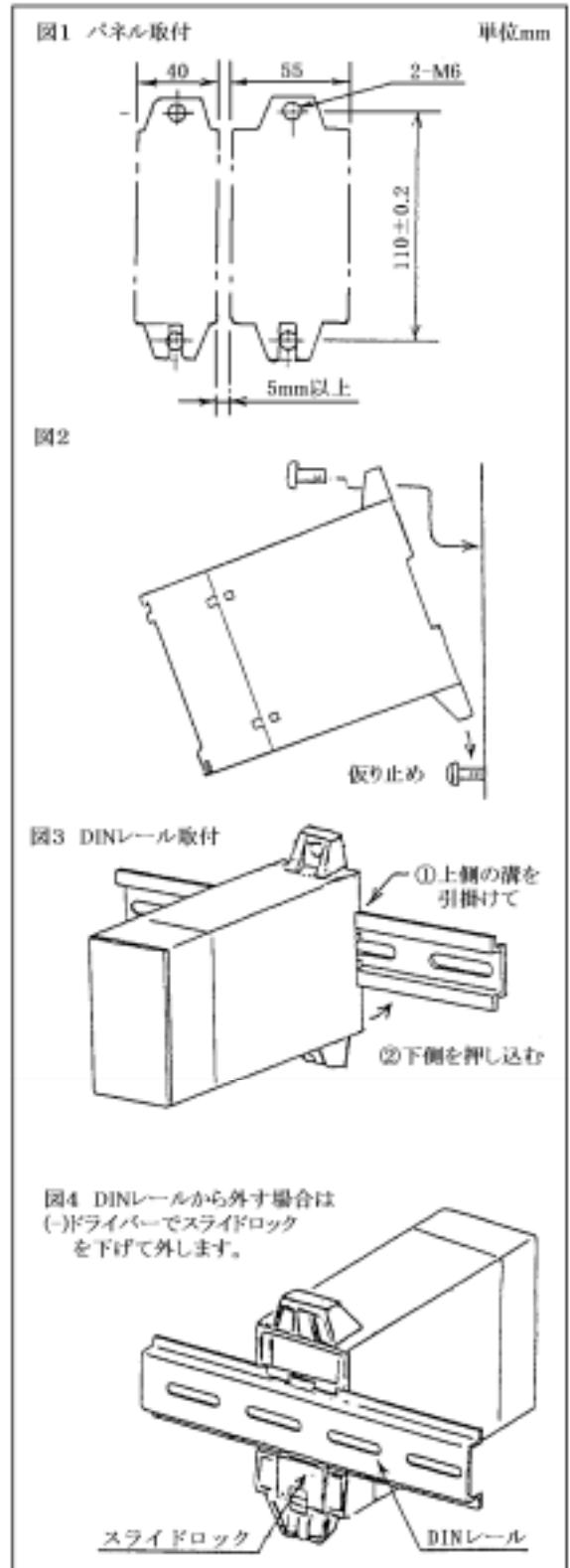
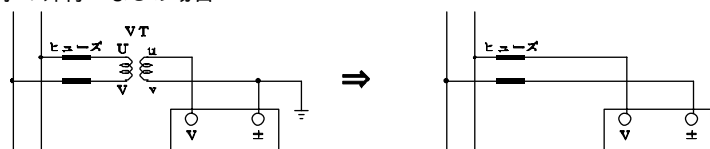
(2)ネジアップ方式について
本製品の端子にはゆるめるだけでネジが持ち上がり、丸形端子の配線ができるネジアップ方式を採用しています。
ネジ、スプリングワッシャが容易に抜けること無く、ネジを押して締め付けるだけなので、配線作業時間が大幅に短く、そして大変楽になりました。

ネジがアップしている状態で不必要に左回しをしないでください。
ネジが抜けることがあります。

端子M4ネジの推奨取付トルク：1.2N･m

(3)配線はカタログ又は本体の側面に貼付けされた銘板の結線図に従ってください。それらの結線図は交流入力全てに外付ＣＴ、ＶＴが付いています。
ダイレクト(直接)入力の場合はＣＴ、ＶＴが無いものとして、直接結線してください。
なお、その場合はＣＴ、ＶＴの2次側接地(電位安定用のアース)は不要です。

例1：外付CTなしの場合

例2：外付VTなしの場合

４．ゼロ、スパン調整

ゼロ及びＦＳ(スパン)の調整が必要となった場合は、右の外部調整ＶＲで実施ください。
なお、調整後の許容差はメーカ保証の対象外となりますので、予めご了承ください。

(注１)ＺＥＲＯ点を調整すると、出力は全体にシフトします。
従ってＦＳ値(スパン)の確認が必要です。
(注２)ＦＳ値を調整してもＺＥＲＯ点は変化しません。
出力はリニア(直線線を維持したまま)に変化します。

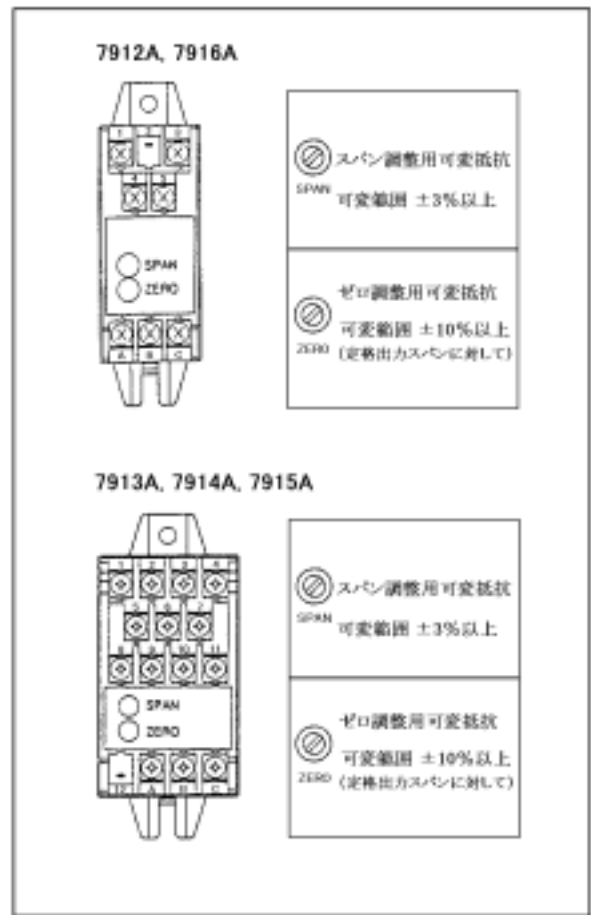
トランスデューサを安全にお使いいただくために。

(1)使用環境・使用条件
次のような場所では使用しないでください。
・周囲温度が-10～＋55℃の範囲を超える場所。
・湿度が20～85%RHの範囲を超える場所。
・振動、衝撃の多い場所。
・雨、水滴及び直射日光のあたる場所。
・塵埃、塩分、油煙及び腐食性ガス(亜硫酸ガス、アンモニアガス、硫化水素ガスなどの金属やプラスチックを侵すガス)の多い場所。
・外来ノイズ、電波の強い場所。
・静電気の発生が多い場所。
・インバータ、サイリスタ回路など波形歪や高調波の多い場所。

(2)使用上の注意
・本器の定格範囲内で使用ください。定格範囲外でのご使用は誤作動や故障の原因となります。
・通電中は端子に触れたり、カバーやケースを開けないでください。
・通電中の分流器は発熱していますので、触れないでください。

(3)異常時及び故障時の処理
・異常な発熱、臭い、発音や発煙に気づいたり、故障と判断した場合は直ちに入力を遮断するなどの処置をしたうえで、ご購入いただいた当社代理店又は下記営業所にお申し付けください。

(4)保守点検について
・本器を良好な状態でご使用いただくために、次のような定期点検を実施してください。
・本器及び付属機器に発熱などによる損傷がないか。
・取付及び接続ネジ類に緩みがないか。　(安全のため必ず停電状態で実施してください。)
・本器の寿命は使用状況により一概にいえませんが、10年を目安として更新されることをお薦めします。

(5)廃棄に関する事項
・本器には電池を使用していません。
・一般産業用廃棄物として処理してください。

製品及び取扱説明書には下記の安全記号が表示されています。
⚠ 人体及び機器を保護するために取扱いに注意の警告
取扱説明書を必ず読む必要があることを警告しています。

⚠ 警　告

感電の恐れがありますので、以下のことを守ってください。
・電流計の最高回路電圧は500Vです。対地電圧500V以下でお使いください。
・外部変流器(ＣＴ)に電流が流れているとき、二次側を開放すると危険電圧が発生しますので、本器の接続を外す前にＣＴの二次側を短絡してください。
・端子への接続は緩みのないようしっかりと締め付けてください。
・通電中は、ケース又はカバーを開けないでください。
・通電中は、端子に触れないでください。

TSURUGA 鶴賀電機株式会社

本社営業部 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉1丁目3番23号 TEL 06(6692)6700(代) FAX 06(6609)8115
横浜営業部 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1丁目29番15号 TEL 045(473)1561(代) FAX 045(473)1557
東京営業所 〒141-0022 東京都品川区東五反田5丁目10番18号TK五反田ビル7F TEL 03(5789)6910(代) FAX 03(5789)6920
名古屋営業所 〒460-0015 名古屋市中区大井町5番19号サンパーク東別院ビル2F TEL 052(332)5456(代) FAX 052(331)6477

当製品の技術的なご質問、ご相談は下記まで問い合わせください。
技術サポートセンター 0120-784646
受付時間：土日祝日除く 9:00～12:00/13:00～17:00